



第5回麻疹対策推進会議
平成22年3月10日(水)

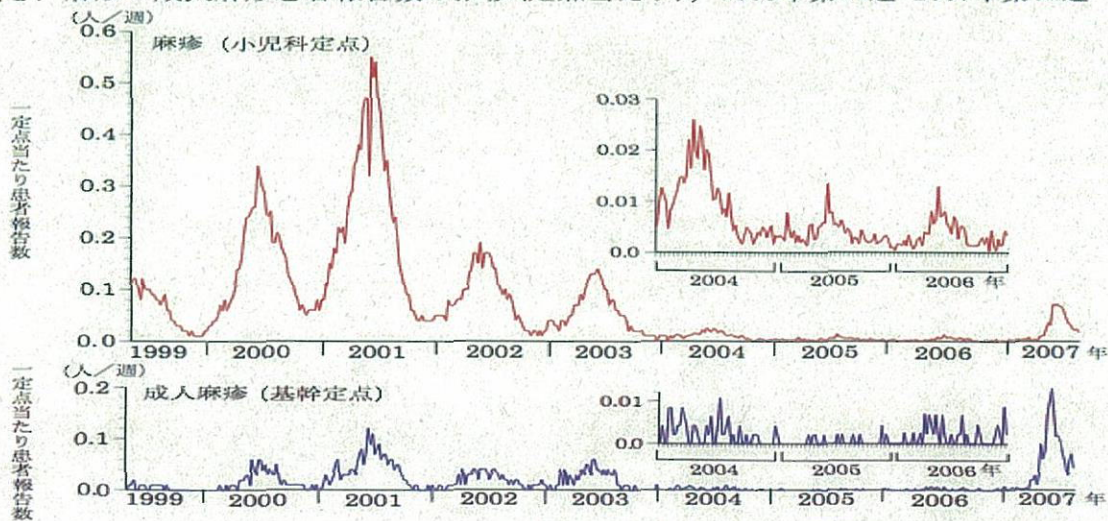
平成21年の麻疹の発生状況

国立感染症研究所・麻疹対策技術支援チーム



麻疹累積定点報告数の推移 1999年～2007年

図1. 麻疹・成人麻疹患者報告数の推移(定点当たり), 1999年第14週-2007年第31週



(感染症発生動向調査: 2007年8月8日現在報告数)

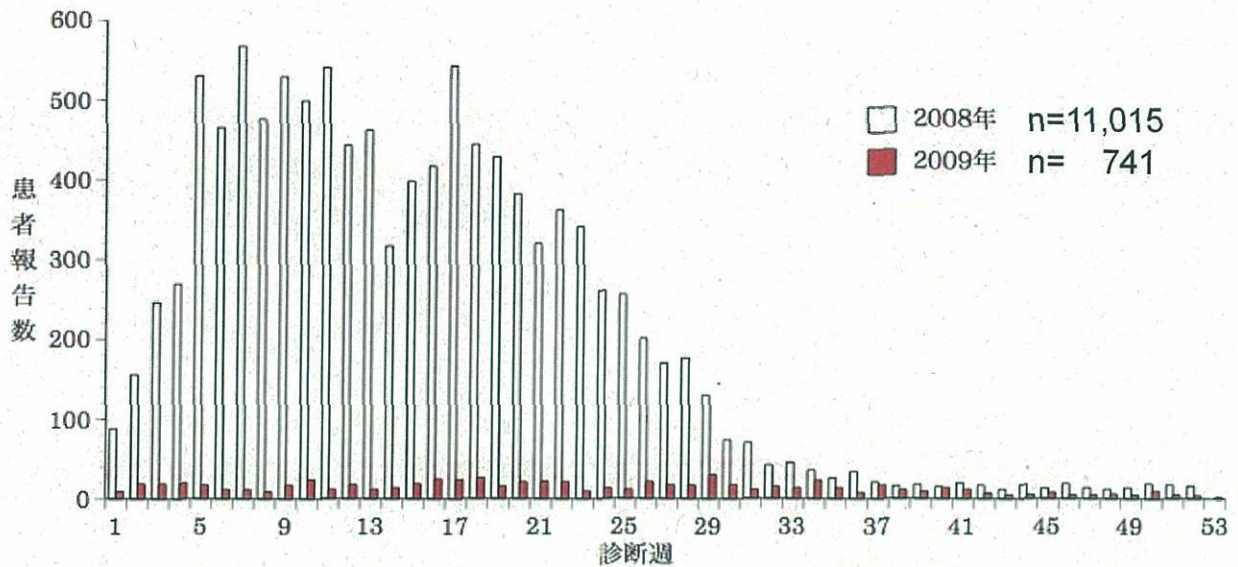
IASR

Infectious Agents Surveillance Report



週別麻疹累積報告数の推移

図1. 週別麻疹患者報告数の推移, 2008年&2009年



(感染症発生動向調査: 2010年1月7日現在報告数)

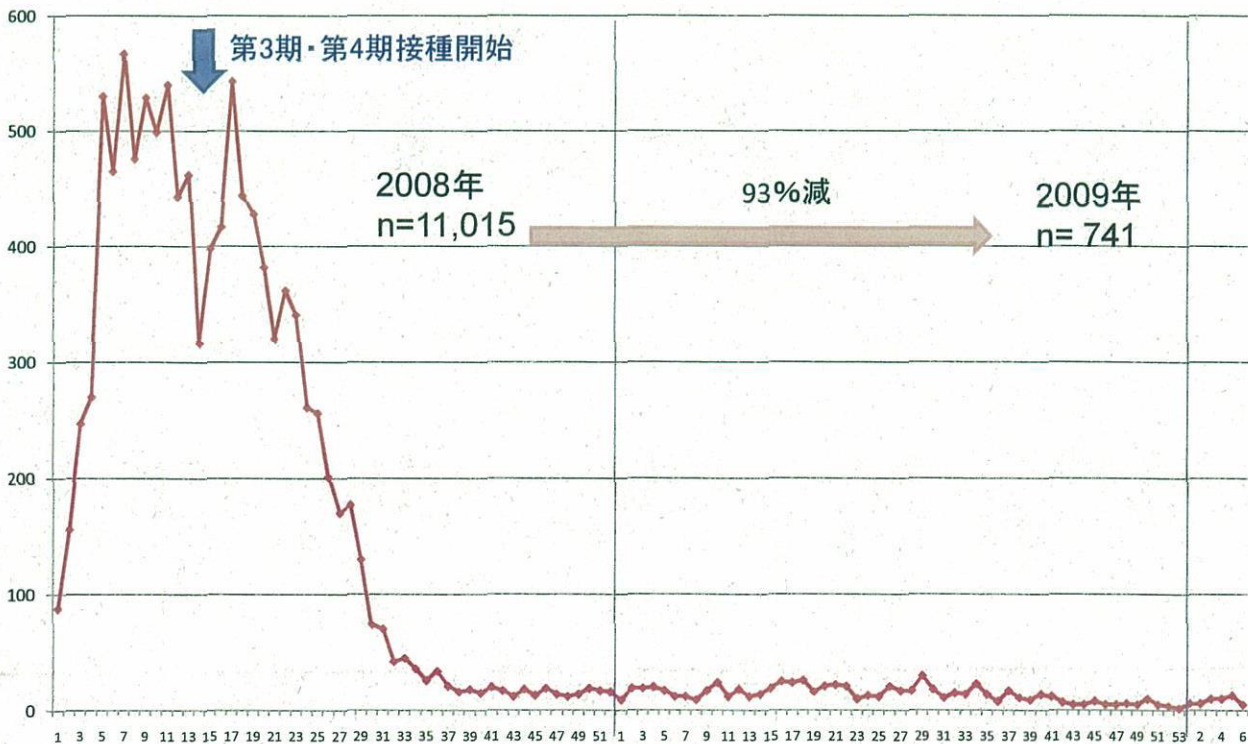


Infectious Agents Surveillance Report

IASR Vol.31 No.2 (No.360), 2010. <http://idsc.nih.gov.jp/iasr/31/360/tpc360-j.html>



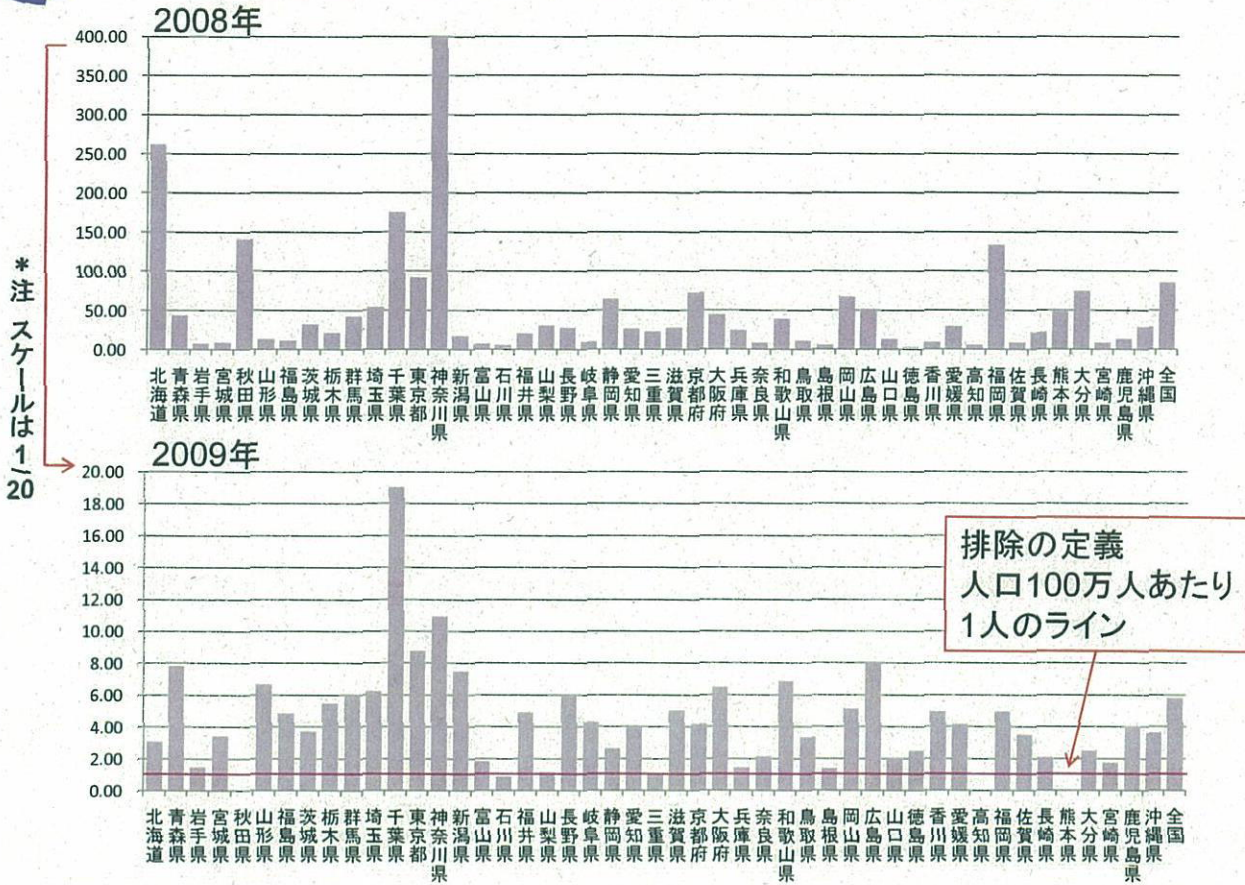
週別麻疹報告数 2008~2010



感染症発生動向調査 2010年1月7日現在

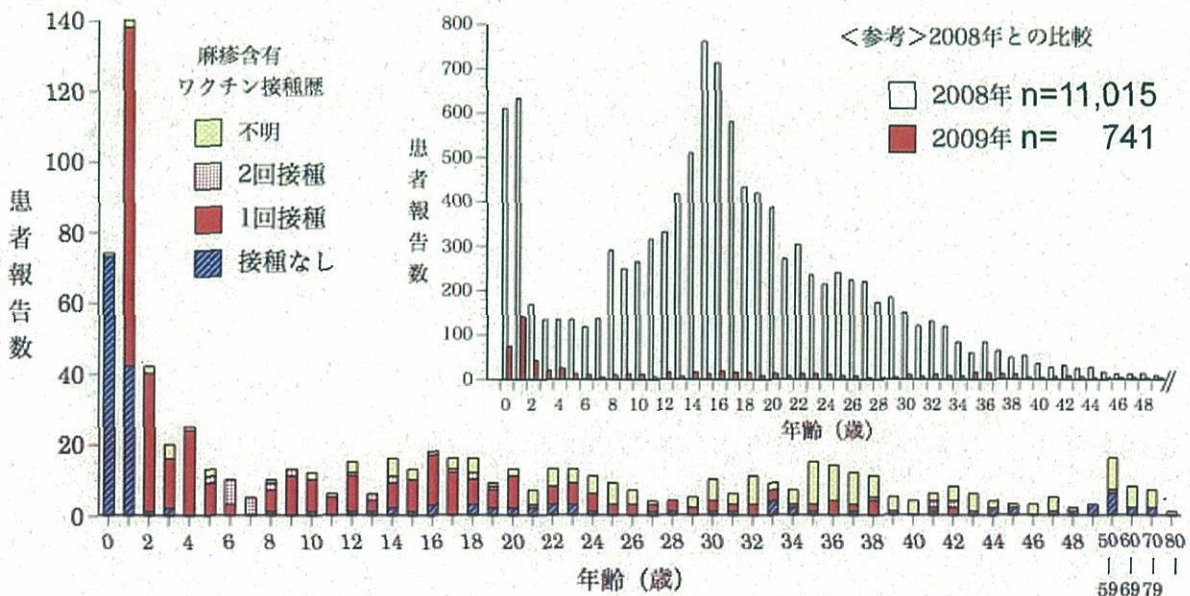


都道府県別人口百万対麻しん報告数



年齢別接種歴別麻しん累積報告数

図3. 麻疹患者のワクチン接種歴別年齢分布, 2009年



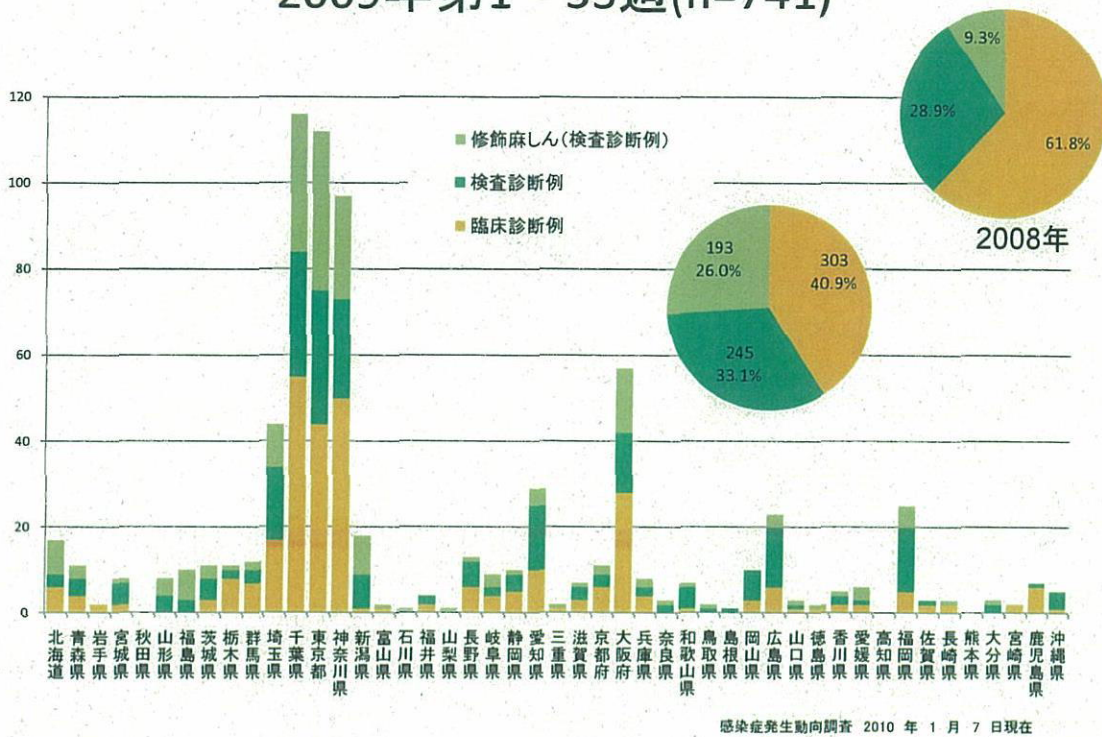
(感染症発生動向調査: 2010年1月7日現在報告数)



Infectious Agents Surveillance Report

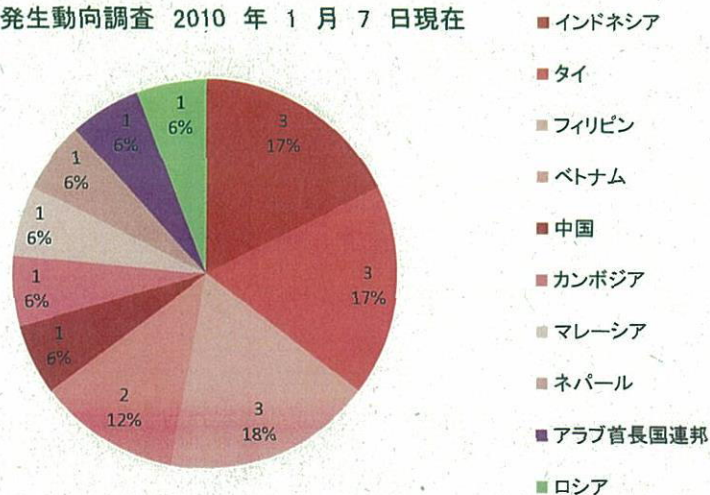


都道府県別病型別麻疹報告数 2009年第1-53週(n=741)



麻疹輸入例(感染地域が国外と報告された症例)

2009年第1-53週累積報告数 (n=17)
感染症発生動向調査 2010年1月7日現在

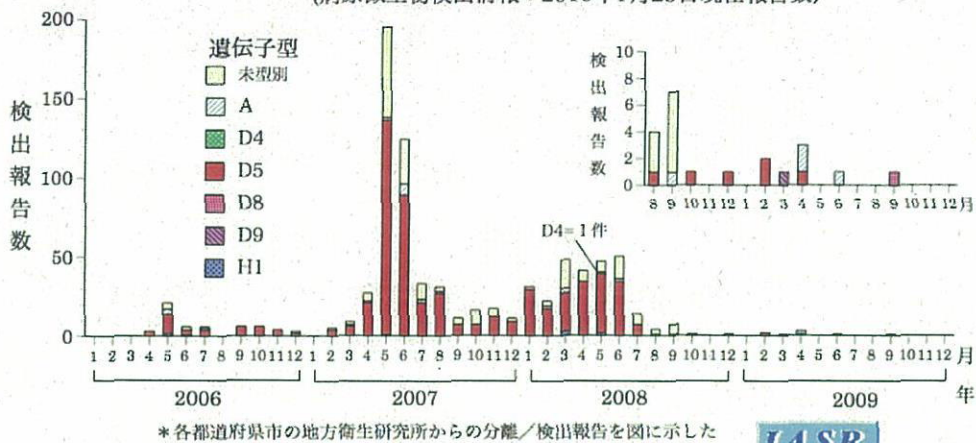


✓輸入例と報告された症例のうち、遺伝子型が判明しているのは、タイで感染したと思われる1例のみで、D9型だった。(IASR Vol.31 No.2 (No.360), 2010. <http://idsc.nih.go.jp/iasr/31/360/dj3609.html>)
 ✓輸入例としての報告ではないが、沖縄で国内例初となるD8型が検出された。この症例には渡航歴がなく、国外から持ち込まれたと思われるD8麻疹ウイルスに感染したことが示唆された。(IASR 速報 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/rapid/pr3572.html>)

参考

- 2006年以降、日本国内では、分離された株のほとんどがD5型である。
- A型はワクチン株である。

図1. 月別麻疹ウイルス分離・検出報告数、2006年1月～2009年12月
(病原微生物検出情報：2010年1月29日現在報告数)



IASR

Infectious Agents Surveillance Report

IASR 麻疹ウイルス分離・検出速報 2007～2009年 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/measles.html> より